

風疹抗体価が陰性、または低いといわれた方へ

【風疹とは】

風疹は、風疹ウイルスによって感染する感染症で、俗に「三日はしか」ともいわれています。通常は重大な感染症ではありませんが、風疹抗体を持っていない妊婦さんが妊娠前半期(特に妊娠12週までの間)に風疹にかかると、赤ちゃんに胎内感染を起し、聴力障害、視力障害、先天性心疾患などの症状(先天性風疹症候群)を起すことがあります

【風疹感染に注意しましょう】

今回、風疹抗体が陰性(または低値)であることがわかりました。妊娠前であればワクチン接種を受ける事を積極的に検討すべきですが、既に妊娠しているのでワクチン接種を受ける事ができません。したがって、風疹が発生している地域では、不要不急の外出を避けていただき、やむを得ず外出をする際には可能な限り人ごみを避けていただくなど、風疹に感染しないよう注意しましょう。また、出産後は、早期の段階で風疹ワクチン接種を受ける事をおすすめします。

【風疹ワクチンについて】

当院においては、妊娠初期検査で風疹抗体が陰性又は低値であった妊婦さんには、産後入院中にワクチン接種をお勧めしています。風疹ワクチンの副作用は少なく、発生しても軽度と報告されています。接種後は2か月間の避妊が必要であることが注意点です。ワクチンの費用は約4,000円(風疹麻疹混合MRワクチンは約7,000円です)。

***お産が近くなりましたら、ワクチン希望の有無をお聞きしていますので、ご検討をお願いします。**

